

知恩 第23号

弘道館 正庁



偕楽園 好文亭



弘道館

平成30年3月14日 撮影 kawakami

殉難した水戸藩士も 此の弘道館で学問武術を学びました

諸生「派」とは この弘道館で 学んだ学生のことです

偕楽園

平成30年3月14日撮影 kawakami

この偕楽園で、好文亭を眺め、梅の花を観賞し ひと時を過ごした事でしょう

定時総会次第

日時	平成30年3月25日	(日)	午後1時30分～午後3時30分
場所	祇園寺 客殿・大広間		水戸市八幡町11-69
進行	事務局	午後1時30分より	
1	開会の辞	事務局	
2	会長	挨拶	
3	議長	選出	
4	議事	説明担当 事務局	
	第1号議案	平成29年度行事報告	
	第2号議案	平成29年度収支決算報告	監査報告
	第3号議案	平成30年度行事計画案	
	第4号議案	平成30年度予算案	
5	その他		
6	全終了	事務局	午後3時30分

これは、定時総会に提示した議案書です。

これにもとずき、審議の上、了承、決議されました。

第 1 号議案 (29 年度行事報告)

- 1 水戸藩国事殉難者慰霊式を挙げる
平成 29 年 9 月 17 日 水戸市祇園寺において慰霊式を行いました
- 2 定時総会 3 月 26 日 祇園寺大広間で 29 年度総会を行いました
- 3 役員会 随時、数回行ないました
- 4 事務局会 随時、数回行ないました 「編集会儀を兼ねて」
- 5 会報 会報知恩 21 号、22 号を発行し、会員全員にお届けしました
- 6 人事の件 常務理事 深谷益美氏が平成 30 年 1 月 31 日を以って退会されました。重要な役割を担当頂きありがとうございました。

第 2 号議案 (29 年度決算報告 と 監査報告)

29年収支決算報告							
収入の部	金額	内訳	適用	支出の部	金額	内訳	適用
科目				科目			
前期繰越			20489	法要費	129,765		
年度会費	32,000						
寄付金	21,000						
その他							
				通信費	47,509		
				資料費	6,704		
法要参加会費	157,000			会議費	22,599		
立替入金	70,000			立替金清算	70,000		
特会より	135,000			特会へ	135,000		
				雑費	18,467		
収入合計	415,000				430,044		

次年度繰越残高

次年度繰越	前期繰越	当期入金	当期払出	当期末残	
恩光碑保存会	20,489	415,000	430,044	5,445	次期繰越
東京貯金センター	0	140,000	6,480	133,520	次期繰越
恩光碑保存会基金	125,234	135,000	135,000	125,234	次期繰越

平成 29 年度の収支決算を上記のとおり報告します。

平成 29 年 12 月 31 日 水戸殉難者恩光碑保存会

会長 川上有文

会計 深谷益美

監査報告

監査の結果、帳票、決算書とも適正であることを認めます

平成 30 年 3 月 25 日 水戸殉難者恩光碑保存会

監事 宇留野 光

監事 松葉尚志

第 3 号議案（平成 30 年度行事計画）

- 1 定時総会 1 回 3 月 25 日（日） p m 1 : 3 0 ~ p m 3 : 3 0 祇園寺に行なう
- 2 役員会 随時 数回行なう
- 3 事務局会 随時 数回行なう
- 4 会報 2 回 会報知恩 23 号 24 号を作成し発送の予定
- 5 行事（事業） 本年は、特別の年なので次に掲げる事業を行います
 - (1) 新潟県柏崎市西山町 灰爪の丘の「戊辰の役当所戦没者供養塔」及び 4 基の戦没者「埋葬塚」の歴史遺産 維持管理と環境整備（除草など）を担当する現地の（灰爪の丘史跡を守る会）に活動支援金を贈る

灰爪の丘史跡を守る会

又、（灰爪の丘・史跡を守る会） 支援に協力をお願いする

第 4 号議案（30 年度予算案）

収入之部	金額	適用	支出の部	金額	適用
前期繰越		5,445			
年度会費	120,000				
特会より	100,000		支援金	100,000	灰爪支援金
			法要	10,000	総会場使用礼金
			通信費	30,000	切手代
			資料費	30,000	会報ほか
			その他	20,000	会議ほか
			予備費	30,000	
収入合計	220,000		支出合計	220,000	

5 その他

NO1 新潟県内水戸藩士戦没者を偲んで

新潟県内での戦い 及び 灰爪の丘の現状について

慶応 4 年 5 月から 8 月、「西軍」新政府と「東軍」会津藩の戦いが新潟県内・各地で行われ多くの人々（水戸藩士は 160 余人）が戦死し、特に、新潟県柏崎市西山町灰爪の丘の戦闘では、会津藩の戦闘部隊として、戦い、水戸藩士 50 人余が戦死しました。

各地の戦死者

慶応 4 年 5 月 3 日	越後 椎谷	5 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所不明
慶応 4 年 5 月 3 日	越後 宮川	11 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所不明
慶応 4 年 5 月 14 日	越後 灰爪	49 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所判明
慶応 4 年 5 月 14 日	越後市野坪	19 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所不明
慶応 4 年 5 月 14 日	越後 与板	28 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所不明
慶応 4 年 6 月 15 日	越後 与板見張場	8 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所不明
慶応 4 年 7 月 13 日	越後 馬頭見張場	16 人戦死	姓名判明	お墓	埋葬場所不明
慶応 4 年	越後 各地	15 人戦死	姓名判明	戦死場所	お墓不明
慶応 4 年 5 月 3 日	越後 寺泊	1 人 戦病死	佐藤図書	お墓判明	
慶応 4 年	弥彦	1 人 戦死	姓名判明	お墓判明	
慶応 4 年	越後 その他	不明			

灰爪の丘の戦闘では、戦後、戦死者は 4 基の埋葬塚に葬られ、供養塔が建てられ、長期にわたり現地の人々により、供養されています。

今、この灰爪の丘が危機に瀕しています。

今まで、史跡の維持管理、環境整備に尽力を頂いていた地元の荒木様が他界され、今は誰もいません。

地元の、尾崎忠良様にお願ひし、(灰爪の丘・史跡を守る会)をた立ち上げて頂き、本会としても支援して参りたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

NO 2 灰爪の丘史跡を守る会 を支援するために、自由意思による灰爪支援募金活動を展開し、協力する件

支援金は全額「守る会」へ贈る 向後 3 年間支援を継続する

NO 3 人事の件

①超高齢 86 歳以上の会員の会費納入免除の件

②H31 年 3 月は役員改選の年、本年中に検討し万全を期す件

③H30,3,31 を以って、病気のため、現・会長辞任、退会する件

以上



灰爪の丘 供養塔

本号は、平成 30 年 3 月 25 日開催された、定時総会について報告致します。

総会議案書に記載のとおり、審議頂き、次のように承認、決議されました。

- 議案 1 平成 29 年度行事報告は、提案とおり承認、決議されました。
議案 2 平成 29 年度決算報告は、提案とおり承認、決議されました。
議案 3 平成 30 年度行事審議は、提案とおり承認、決議されました。
議案 4 平成 30 年度予算審議は、提案とおり承認、決議されました。

その他（文責：大森信明）

NO1 新潟県内の戦いと灰爪の丘の現状についての報告について、今後現地で「灰爪の丘を守る会」を立ち上げること、会の準備資金として、本会の 30 年度予算より ¥100,000 円を寄付することが了承されました。

NO2 「灰爪の丘を守る会」を支援のため、向こう 3 年間灰爪支援募金活動を行うことが提案されましたが、150 周年記念事業の募金と 2 重の募金になることから、否決されました。今後の支援方法につきましては、保存会・新体制の課題として検討してまいります。

NO3 人事の件

① 超高齢 86 歳以上の会員の会費納入免除の件

これは川上会長の、会費支払いが困難な高齢者を救済したいとのお考えにより提案された件で、大きな議論なく了承されました。しかし後からどのように実行に移すかを考えてみますと、会で会員の皆様の年齢を把握することが必要になります。これはプライバシーの観点から問題ですし、恩光碑保存会の目的から必要のないことであります。私は現実的な対応といたしまして、希望される方には自己申告をしていただき、個別対応する運用にしたいと思います。

② H31 年 3 月の役員改選に向けて本年中に検討し万全を期す件
残された会員の役目として了解いたしました。

③ H30.3.31 を持って、川上会長が辞任、退会する件

川上会長が会長をお辞めになる件、及び大森信明が H30.4.1 を持って新会長になる件が審議され、了承されました。川上会長からは残務として、これまで行って来た業務（会長業務、会計、会報の発行等）を 4 月中旬までに引き継ぐこと、智恩第 23 号原稿の編集を行い引き継ぐことの説明があり、了承されました。川上会長へは、保存会より感謝状・記念品を贈りました。

※ 7 頁の挨拶にも書きましたが、川上先生の会設立からのご尽力により、水戸市から「天狗党も諸生党も分け隔てなく対応する」との見解を得るに至りました。また今年は 150 周年記念事業を進めておりますが、川上先生の強い意志により実現したことです。川上先生、永年会を牽引してくださり、本当にありがとうございました。（大森信明）

会長退任のご挨拶

此のたび、平成 30 年 3 月 31 日付けで、病気のため会長辞任、退会致しました。
皆様には、長い間、お世話になり、心から御礼申し上げます。
水戸市当局の皆様、市議会の皆様、会津の皆様、柏崎の皆様、匝瑳市の皆様、そして
会員の皆様、ご指導、ご支援、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。
これからも、水戸藩諸生派殉難諸士の汚名払拭、名誉回復に、なお一層のお力添えを賜り
ますよう御願い申し上げます。
後任会長は、初代会長故大森信英先生の後継者である大森信明氏であります。
倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう御願い申し上げます。

平成 30 年 3 月 31 日

川上有文

この 15 年を顧みて 考察

私ども、水戸殉難者恩光碑保存会は、水戸藩幕末史において、勝敗を超えて門閥諸生派の
存在を明らかにし、水戸藩開藩以来、藩政を担い最後まで水戸徳川家を支持し、いかに徳川
御三家の義を全うしたかを明らかにし、その実態を多くの皆様に知って頂き、ご理解の輪が
広がる事を願っています。

平成 15 年、初代会長故大森信英先生の並々ならぬ決意のもとに、諸生派殉難者の慰霊
行事を行うことを決議致しました。

平成 16 年、水戸藩諸生派殉難者慰霊祭を復活してから今日まで会員皆様のご支援ご協力
により、諸生派の名誉回復のために、一人でも多くご理解の輪が広がるよう努力して参りま
した。水戸市・祇園寺を始め、会津若松、新潟・柏崎、千葉・匝瑳市の地元を訪問、殉難者
の慰霊行事を行って参りました。各地元の皆様の殉難者供養には心から感謝申し上げる者で
あります。地元の皆様に篤く々々御礼申し上げます。

平成 21 年には、水戸市議会に於いて水戸藩幕末期においての天狗党諸生派の位置付け
と現在の対応について質疑応答があり、今まで差別があったが今後は両派を平等に対応する
等の市教委の答弁がありました。私はこの答弁を以って従来为天狗正義、諸生逆賊という
「水戸史観」が見直されたものと受け止めたいと思います。

明治期の水戸天狗政権が諸生派を否定し、平成の水戸市当局がそれを見直し平等に対応す
る としての「水戸史観」の大きな変化であると認識したいと思います。

又、現時点で、どうしても、考慮すべき事、新潟県内戦没者の供養のことであります。
昭和 52 年に発見されて以来、水戸市をはじめ茨城県も、多勢の「160 人余」の戦没者に対
して殆ど、なにもして居ません。今でも、大部分の水戸藩士が不明であります。

(灰爪の供養塔)を新潟県内全体戦没者の供養塔と位置付けし、定時総会決議にもとずき、
新体制のもとに(灰爪の丘史跡を守る会)支援のため、最も適切な、持続可能な、支援具体
策「募金、寄付」を検討していただき、早期・実行をお願い致します。

平成 30 年 3 月 31 日

川上有文

水戸殉難者恩光碑保存会 会長就任のご挨拶 大森信明

この度、川上有文先生より恩光碑保存会の会長を引き継ぎました大森信明です。どうぞよろしくお願い致します。私は歴史の専門家ではなく、また現役世代で水戸を離れておりまして活動が制約されることから、なにかと会員の皆様にはご不便をおかけすることもあると思いますが、持続可能な体制を作って運営していきますので、どうぞ皆様のご協力をお願い致します。

会長を引き継ぐにあたり、先ず川上先生のこれまでのご努力に敬意を表させて頂きます。川上先生の諸生党復権への強い思い、永年のご努力により、高橋議員の協力を得、H21 年水戸市より、今後は諸生党も天狗党も公平に対応する回答を得る事が出来ました。それにより、ようやく、祇園寺、灰爪、会津、匝瑳市等での法要に、行政から参列頂けるようになったわけです。川上先生、本当に有難うございました。

次に私の思いを述べさせていただきます。明治維新から 150 年が経ち、多くの方々は、何を今更天狗党だ諸生党だと思っておられることでしょうか。私もつい最近までそうでした。しかしながら、水戸市の行政が平等に取り扱うといったのはつい先日のことなのです。これまで、水戸市は彦根市や敦賀市とは姉妹都市、友好都市の関係を結び、交流を行なって来ました。天狗党にかかわる水戸の歴史は既に広く知られております。しかしながら水戸藩の悲劇の歴史はそれだけでは終わっておりません。諸生党が朝敵の汚名を着せられ、水戸に居られなくなり、追討隊と戦わなければならなかった悲劇の歴史については、歴史から抹殺され、未だほとんど知られておりません。我々が行政への働きかけをやめてしまったら、永久に歴史から忘れられてしまうでしょう。ですから、諸生党の悲劇の歴史についても、歴史教育で語られるようになるまでは我々は活動をやめてはならないのです。

私のもう一つの思いは、匝瑳市や、柏崎市、会津市に、我々の祖先を供養して下さる方々がいらっしゃることに感謝の気持ちです。私は一昨年初めて匝瑳市での慰霊に参加させて頂きました。地元の人にとって我々の先祖は、勝手にやってきて戦争をして、大変迷惑なことだったでしょう。それなのに、地元の皆様は我々の先祖を今日まで篤く供養して下さっているのに、我々が忘れるわけにはいかないのです。その思いから、若輩ではありますが、会長を引き受けさせていただくことに致しました。

恩光碑保存会に付きまして、私が気にかけております事は、会員が高齢化してお辞めになり、会が縮小していることであります。しかし我々に代わって水戸市が、匝瑳市や、柏崎市、会津市と交流してくれるようになるまでは、我々は活動をやめるわけにはいきません。そのためには、会員が世代交代し、継続していくことが必要です。ですから、是非ともご子息やご親戚へバトンタッチして頂きたいのです。新会長といたしましても、次の世代へ歴史を伝えて行くことが必要だと思っております。

さて、今年は明治維新 150 年記念事業として、水戸市が水戸城大手門の再建など様々な事業を行っております。恩光碑保存会も水戸市と共同し、水戸藩士殉難 150 年記念事業といたしまして、記念誌の発行、慰霊を兼ねた研修会の実施（会津、灰爪、匝瑳市、祇園寺）、灰爪の丘顕彰碑の設置、特別講演会などを計画致しました。会員の皆様には実行委員会より、必要な資金の募金のお願いしております。ぜひとも、ご協力をお願い致します。

戊辰の役 灰爪の戦いについての考察

この考察は水戸藩士の名誉のために書き残すものです。

昭和 52 年 6 月 12 日以来 4 体の白骨が戦いの場となった付近より出土し埋蔵文化財として新潟大学に大切に保管されてあります。私は発見当初より、仏の供養と供養塔の建立を願ってきた者ですが、平成元年 10 月 12 日念願の供養塔の開眼供養も町内外の多くの皆様の御協力によって無事成就しました。この戦いで、多数の戦死者がでた状況については遂に解明されずじまいでしたが、平成 10 年上旬になり西軍の連発した砲弾の一発が上山田村の一本杉に当たって落下し、他の一発は上山田村中の田の中に埋もれていることを古老の言で確認しました。

平成 2 年 2 月に至りこの戦いに当時別山村の某家に水戸藩士が多数宿泊していて、其の時使った火縄銃や槍等が同家に保管されていることが分かりました。戦いの当日即ち慶応 4 年 5 月 14 日の天候は、金沢藩の古文書や薬師峠を死守した会津藩・井上哲作の報告書、また、別山村の古老の伝承にも、「昨夜の冷雨で」とあるように、雨降りでした。そのため、東軍は主力火器である火縄銃が使えず、西軍が使用した単発撃発銃の猛射の前に、予想外の戦死者を出したものと思われます。戦場となった畑は 120 年前の戦争当時には現在のように柿の木などは無く 50 センチ程に生長した一面の麦畑であったことから、後退の際には西軍火器のよい目標になって、更に戦死者の数が増したのではないかと思います。

致命的な悪条件の中で、東軍将士が如何に勇敢に戦ったかを書き残し供養の一助になればと、今日まで調査し、聞いたことを記して終わりとしします。合唱

平成 2 年 3 月 20 日

荒木家光

荒木家光氏は平成 8 年に他界されました。後継者邦栄氏も平成 29 年に他界されました。現在は、荒木家には誰もおりません。

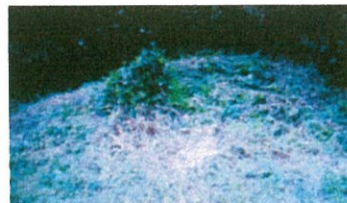
今後、灰爪の丘史跡は（灰爪の丘史跡を守る会）の心有る同志により、環境整備など守られる事になるでしょう。



灰爪の丘 埋葬塚 1



灰爪の丘 埋葬塚 2



灰爪の丘 埋葬塚 3

編集後記

私の編集による会報知恩は、本号を以って終わりとなりました。長い間、会報をお目通し頂き有難う御座いました。

会報知恩第 23 号

2018 年（平成 30 年）5 月 1 日

発行所 水戸殉難者恩光碑保存会

編集人 川上有文

発行人 大森信明